

1985, 8, 名古屋.

119) 橋本哲夫, 黒田吉隆, 榊原年宏, 石田哲也, 上野桂一, 大戸 司, 喜多一郎, 辻 政彦: 胃癌における転移性卵巣腫瘍の治療成績. 第58回日本消化器病学会北陸地方会, 1985, 12, 金沢.

120) 石田哲也, 喜多一郎, 榊原年宏, 橋本哲夫, 上野桂一, 大戸 司, 黒田吉隆, 辻 政彦: 肝転移陽性大腸癌の治療成績. 第58回日本消化器病学会北陸地方会, 1985, 12, 金沢.

121) 川口 誠, 肥田高嶺, 小泉富美朝, 嶋尾正人, 広瀬昭一郎: 慢性関節リウマチに続発したアミロイド症により蛋白漏出性胃腸症を呈した1剖検例. 第70回日本病理学会, 1985, 4, 東京.

122) 肥田高嶺, 川口 誠, 若木邦彦, 小泉富美朝, 横澤隆子, 大浦彦吉: アデニン投与ラットにおける腎障害の初期変化—酵素化学的ならびに電顕的検討—. 第70回日本病理学会, 1985, 4, 東京.

123) 島多勝夫, 山下芳朗, 加藤 博, 田沢賢次, 伊藤 博, 藤巻雅夫: Delayed primary operation で切除し得た胸部神経節芽腫の1例. 第202回北陸外科学会, 1985, 9, 福井.

124) 島多勝夫, 山下 巖, 黒木嘉人, 清水哲朗, 加藤 博, 穂苅市郎, 鈴木康将, 笠木徳三, 永瀬敏明, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 腸重積を伴ったS状結腸癌の1例. 第58回日本消化器病学会北陸地方会, 1985, 12, 金沢.

125) 山下 巖, 山下芳朗, 坂本 隆, 黒木嘉人, 穂苅市郎, 唐木芳昭, 田沢賢次, 伊藤 博, 藤巻雅夫: 食道胃接合部機能を温存し得た筋性線維性食道狭窄症の乳児手術例. 第6回富山消化器病研究会総会, 1985, 10, 富山.

126) 石沢 伸, 加藤 博, 小田切治世, 斎藤光和, 沢田石勝, 宗像周二, 真保 俊, 唐木芳昭, 田沢賢次, 伊藤 博, 藤巻雅夫: ノードマウス可移植性ヒト胆管癌2株を用いた実験的化学療法・放射線療法. 第58回日本消化器病学会北陸地方会, 1985, 12, 金沢.

127) 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子, 増山喜一, 斎藤光和, 松井寿夫: Benzaldehyde- β -cyclodextrin (KBC) の抗腫瘍活性…人工肺転移の抑制効果… 第22回日本細菌学会中部支部総会, 1985, 11, 新潟.

脳 神 経 外 科 学

教 授	高 久	晃
助 教	遠 藤	俊 郎
講 師	岡 伸	夫
助 手	堀 江	幸 男
助 手	中 田	潤 一
助 手	栗 本	昌 紀
助 手	大 森	友 明
助 手	原 田	淳
助 手	野 上	予 人
技 官	武 田	茂 憲
	中 山	八 男

◆ 原 著

1) 田中良則, 中村泰久, 遠藤俊郎, 岡 伸夫, 三輪淳夫, 北川正信: 頭蓋内進展を認めた眼窩内 paraganglioma の1例. 日本眼科紀要 35: 946—950, 1984. (59年度追加)

2) 高久 晃, 岡 伸夫, 平尾正人, 遠藤俊郎, 森沢佐蔵: 実験的水頭症における血管構築. 小児水頭症の病態および治療, 昭和57年度文部省科学研究費補助金公付研究班「小児水頭症の病態および治療法に関する基礎的臨床的研究」講演集 16—19, にゅーろん社, 1984, (59年度追加)

3) 肥田高嶺, 小泉富美朝, 若木邦彦, 神山和世: 側頭動脈炎の1生検例—特に巨細胞の免疫組織学的および電顕的検討—. 厚生省特定疾患. 系統的血管病変に関する調査研究班. 1983年度研究報告書, 278—283, 1984.

4) 岡 伸夫: 水頭症の発生機序. 看護技術 31: 10—14, 1985.

5) 遠藤俊郎: 脳血管障害—特に脳梗塞と生体防御, Therapeutic Research 2: 71—78, 1985.

6) 平島 豊, 本 敦文, 遠藤俊郎, 高久 晃, 石川篤子, 本田 昂: 虚血脳 microsome 分画におけるリン脂質代謝関連酵素の変化. 脳と神経 37: 385—391, 1985.

7) 遠藤俊郎, 杉田 毅: 前交通動脈瘤急性期手術例に対する Methylprednisolone, Hydrocortisone, Dexamethasone の使用経験 —特に合併症を中心として—. 薬理と治療 13: 523—529, 1985.

8) 桑山直也, 高橋慎一郎, 園部 真, 香川茂樹, 池田秀敏: 内頸動脈閉塞をきたした Neurofibromatosis の1例. 脳神経外科 137: 743—747, 1985.

9) 高橋慎一郎, 園部 真, 桑山直也, 鈴木倫保: 小児脳動静脈奇形のCT像 —特に破裂急性期の病

態を中心に一。小児の脳神経 10:193—197, 1985.

10) 高久 晃, 西高美知春: 血行再健術(バイパス術) EC-IC バイパス術開発の歴史的背景とその臨床上の適応について. CLINICIAN 32: 52—64, 1985.

11) 神山和世, 遠藤俊郎, 堀江幸男, 甲州啓二, 高久 晃: 脳動脈瘤, 頭蓋外内頸動脈瘤, 頭蓋外椎骨動静脈瘻を伴った Neurofibromatosis の1例. 脳神経外科 13: 875—880, 1985.

12) 本 敦文, 中田潤一, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃, 北川正信: 頭蓋内腫瘍を認めた急性骨髄性白血病(AML)の1例. 脳神経外科 13: 889—893, 1985.

13) 神山和世, 遠藤俊郎, 塚本栄治, 平島 豊, 高久 晃, 斎藤隆景: ガラス片による頭蓋内穿通外傷の3症例. 神経外科 25: 668—671, 1985.

14) 遠藤俊郎: 頸部内頸動脈血栓内膜切除術(CEA) 一自験86例の検討より一. The Mt. Fuji Workshop on CVD 3: 143—146, 1985.

15) Nishijima M., Iwai R., Horie Y., Oka N. and Takaku A.: Spontaneous occlusion of traumatic carotid cavernous fistula after orbital venography. Surg Neurol, 24: 489—492, 1985.

16) 瀬戸 光, 二谷立介, 亀井哲也, 瀧 邦康, 柿下正雄, 本 敦文, 遠藤俊郎: N-isopropyl-P-[¹²³I] iodoamphetamine (IMP) のSPECT像による脳血管障害の局所脳血流の評価 —IMPの脳半球摂取計数と¹²³Xe 動注法による脳血流量の比較. 日本医学放射線学会雑誌 45: 1135—1141, 1985.

17) 神山和世, 高久 晃, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 平島 豊: 老人の脳室拡大 —知的機能とPVL, ventricular reflux からの検討—. 厚生省特定疾患, 難治性水頭症調査研究班. 昭和59年度研究報告書 149—158, 1985.

18) 白根礼造, 嘉山孝正, 吉本高志, 鈴木二郎, 高久 晃: 全摘した乳児巨大頭蓋内奇形腫の長期生存例. 脳神経外科 13: 1103—1107, 1985.

19) 岡 伸夫, 中田潤一, 遠藤俊郎, 高久 晃, 篠原治道, 森沢佐歳: 実験の水頭症における血管構築. 神経外科 25: 701—706, 1985.

20) 平島 豊, 塚本栄治, 岡 伸夫, 山谷和正, 遠藤俊郎: V-Pshunt 術後のmetrizamide CT 脳槽撮影で遷延性意識障害をきたした1例. CT 研究 7: 338—343, 1985.

21) 本 敦文, 遠藤俊郎, 大森友明, 岡 伸夫, 高久 晃: 興味あるCT所見を呈した Bickerstaff 脳炎と思われる1例. CT 研究 7: 324—327, 1985.

22) 中田潤一, 平島 豊, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃: 組織学上興味ある所見を示した腰仙部 lipomeningomyelocele の1例. 小児の脳神経 10: 335—340, 1985.

23) 高久 晃, 甲州啓二: 電気分解法による組織血流量測定 —持続測定装置の開発—. 昭和59年度科学研究費補助金(試験研究(2))研究成果報告書 1985.

◆ 総 説

1) 高久 晃, 岡 伸夫: もやもや病. からだの科学 126: 84—88, 1985.

◆ 学会報告

1) 遠藤俊郎: 頭蓋内外に發育した髄膜瘤・anterior choroidal artery をfeeder とするAVM. 白馬カンファランス, 1985, 1, 長野.

2) 本 敦文, 岡 伸夫, 中田潤一, 遠藤俊郎, 高久 晃: 経時的にCT所見を追跡したBickerstaff 脳炎と思われる1例. 第8回脳神経CT研究会, 1985, 1, 東京.

3) 遠藤俊郎, 平島 豊, 岡 伸夫, 高久 晃: CT スキャンによる側脳室全角面積測定. 昭和59年度第2回厚生省難治性水頭症班会議, 1985, 2, 神戸.

4) 高久 晃: 小児の脳血管障害. 北陸小児神経懇話会第7回学術集会, 1985, 2, 金沢.

5) Ono T., Yamatani K., Nishino H., Fukuda M. and Nishijo H.: Prefrontal cortex relation to learning, single neuron activity in monkey. International Symposium: Neuronal and Endogenous Chemical Control Mechanisms on Emotional Behavior, 1985, 2, Fukuoka.

6) 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 斎藤哲現, 福田 修, 高久 晃: 頭蓋内小動脈破綻による外傷性クモ膜下出血の1例. 第14回日本脳神経外科学会中部地方会, 1985, 3, 津.

7) 大森友明, 岡 伸夫, 岩井良成, 高久 晃: 外傷性髄液耳漏の一手術. 第14回日本脳神経外科学会中部地方会, 1985, 3, 津.

8) 神山和世: 水頭症に続発した十二指腸穿孔の乳児例. 第21回日本小児科学会北陸地方会, 1985, 3, 富山.

9) 高久 晃: 小児の脳血管障害. 茨城脳神経外科懇話会, 1985, 3, 水戸.

10) 山谷和正, 小野武年, 西野仁雄, 福田正治, 西条寿夫: サル前頭前野ニューロンの学習行動に対する応答性. 第62回日本生理学会大会, 1985, 3, 久留米.

11) 岡 伸夫, 高久 晃, 遠藤俊郎, 岩井良成: 側脳葉内側面の脳動静脈奇形への到達法—modified keel form skin incision を用いて—. 第14回日本脳卒中の外科研究会, 1985, 4, 京都.

12) 西寫美知春, 神山和世, 中田潤一, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃: 未破裂脳動脈瘤と脳梗塞. 第10回日本脳卒中学会総会, 1985, 4, 京都.

13) 栗本昌紀, 岡 伸夫, 平島 豊, 神山和世, 高久 晃: 脳底動脈閉塞と小脳梗塞を伴った atlanto-axial dislocation の1例. 第13回日本小児神経外科学研究会, 1985, 5, 筑波.

14) 本 敦文, 平島 豊, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃: 虚血脳リン脂質代謝関連酵素に及ぼす S-adenosyl-L-methionine (S-AdoMet) の影響. 第26回日本神経学会総会, 1985, 5, 松江.

15) 堀江幸男, 岡 伸夫, 今井郁子, 嶋尾 智, 新居 隆, 三輪淳夫, 山岸雅司: 剖検にて Holoprosencephaly と診断された胎内超音波検査の一経験例. 第15回日本脳神経外科学会中部地方会, 1985, 福井.

16) 本 敦文, 岩井良成, 堀江幸男, 岡 伸夫, 高久 晃, 肥田高嶺, 若木邦彦: 頭蓋内へ転移したと考えられる脊髄腫瘍の2例. 第15回日本脳神経外科学会中部地方会, 1985, 6, 福井.

17) 岩井良成, 岡 伸夫, 高久 晃, 水越鉄理: 眼球突出および視力障害を呈した巨大な mucocoele の一治験例. 第9回北日本脳神経外科連合会, 1985, 6, 弘前.

18) 岡 伸夫, 神山和世, 中田潤一, 遠藤俊郎, 高久 晃: 側頭葉内側面の脳動静脈奇形の手術例. 第9回北日本脳神経外科連合会, 1985, 6, 弘前.

19) 須賀俊博, 園部 真, 桑山直也, 甲州啓二, 高橋慎一郎: 頭部外傷による末梢性動眼神経麻痺. 第9回北日本脳神経外科連合会, 1985, 6, 弘前.

20) 須賀俊博, 高橋慎一郎, 園部 真, 甲州啓二, 桑山直也: 多彩な症状を呈した細菌性脳動脈瘤の1例. 第9回北日本脳神経外科連合会, 1985, 6, 弘前.

21) Kamiyama K., Iwai R., Endo S. and Takaku A.: The Relation of Supersensitivity to the Vasospasm Induced by Oxyhemoglobin. 8th International Congress of Neurological Surgery, 1985, 7, Toronto.

22) Hirashima Y., Moto A., Endo S. and Takaku A.: The Activities of Phospholipase A₂, PI-specific Phospholipase C, Lipase and Acyl-CoA: lysophospholipid Acyltransferase in Ischemic Rat Brain. 8th International Congress of

Neurological Surgery, 1985, 7, Toronto.

23) Horie Y., Arai K., Endo S. and Takaku A.: Characteristics of Long-term Cultured Cells Derived from a Human Cerebellar Hemangioblastoma. 8th International Congress of Neurological Surgery, 1985, 7, Toronto.

24) Takahashi S., Soñobe M. and Kuwayama N.: Evaluation of Dead Cases of Rupture Intracranial Aneurysm. —Special Reference to Patients with Early Operation and Without Surgery. 8th International Congress of Neurological Surgery, 1985, 7, Toronto.

25) 本 敦文, 平島 豊, 高久 晃: リン脂質関連代謝酵素に及ぼす S-adenosyl-L-methionine の影響. 第3回 FO-1561 基礎研究会, 1985, 7, 東京.

26) 高久 晃: 小児脳血管障害. 中華医学会, 1985, 8, 中華人民共和国.

27) 高久 晃: 水頭症・先天奇形. 中華医学会, 1985, 8, 中華人民共和国.

28) 高久 晃: 小児脳腹瘍. 中華医学会, 1985, 8, 中華人民共和国.

29) 西方 学, 岩井良成, 岡 伸夫, 高久 晃: 三叉神経痛および顔面痙攣を呈した小脳橋角部髄膜腫の1例. 第23回北陸脳神経外科集談会, 1985, 9, 福井.

30) 大井政芳, 佐藤秀次, 鈴木 尚, 高久 晃: 両側 STA-MCA 吻合術を施工した成人型モヤモヤ血管の経時的変化について. 第23回北陸脳神経外科集談会, 1985, 9, 福井.

31) 小原 進, 栗本昌紀, 中垣滋央: アクリル樹脂使用による頭部多椎間前方固定術. 第12回近畿脊髄外科研究会, 1985, 9, 大津.

32) 広田 茂, 須賀俊博, 甲州啓二, 園部 真, 高橋慎一郎: 延髄神経膠腫の1手術例. 第19回日本脳神経外科学会関東地方会, 1985, 9, 東京.

33) 桑山直也, 岡 伸夫, 高久 晃, 高橋慎一郎: Intrauterine hydrocephalus. 昭和60年度第1回厚生省難治性水頭症班会議, 1985, 9, 東京.

34) 栗本昌紀, 小原 進, 中垣滋央: 対側眼の失明を呈した頭頂葉巨大脳腫瘍の一例. 第22回近畿脳腫瘍研究会, 1985, 9, 神戸.

35) 須賀俊博, 広田 茂, 甲州啓二, 園部 真, 高橋慎一郎: 延髄膠腫の1手術例. 第17回日本脳神経外科学会東北地方会, 1985, 9, 福島.

36) 広田 茂, 須賀俊博, 甲州啓二, 園部 真, 高橋慎一郎: 脳底動脈紡錘状動脈瘤のCT所見と臨床像. 第17回日本脳神経外科学会東北地方会, 1985,

9, 福島.

37) 甲州啓二, 桑山直也, 岡 伸夫, 高久 晃: 発達期における脳血流. 発達期における脳循環障害調査研究会昭和60年度第1回年会議総会, 1985, 10, 東京.

38) 杉田 毅, 大辻常男, 岩井良成, 神山和世, 遠藤俊郎, 高久 晃: 攣縮血管内 OxyHd 分布と組織学的変化—実験的検討—. 第44回日本脳神経外科学会総会, 1985, 10, 長崎.

39) 神山和世, 平島 豊, 西高美知春, 中田潤一, 岡 伸夫, 高久 晃: 老人の脳室拡大—知的機能と PVL, Ventricular reflux からの検討—. 第44回日本脳神経外科学会総会, 1985, 10, 長崎.

40) 堀江幸男, 新井研治, 栗本昌紀, 岡 伸夫, 高久 晃, 黒木登志夫: 脳腫瘍の抗癌剤治療経過中における耐性発現の機序—ACNU の変異誘起作用に関連して—. 第44回日本脳神経外科学会総会, 1985, 10, 長崎.

41) 中村泰久, 山下 泉, 遠藤俊郎, 岡 伸夫, 大辻常男, 高久 晃: 眼窩内腫瘍摘出術術式の選択基準. 第44回日本脳神経外科学会総会, 1985, 10, 長崎.

42) 甲州啓二, 広田 茂, 須賀俊博, 園部 真, 高橋慎一郎, 高久 晃, 斎藤建夫, 牛島豊彦: 開頭時の脳血流連続測定を試み. 第44回日本脳神経外科学会総会, 1985, 10, 長崎.

43) 栗本昌紀, 小原 進, 中垣滋央: 頸動脈分岐部レベルの統計学的検討と逆行性頸動脈撮影の有用性について. 第44回日本脳神経外科学会総会, 1985, 10, 長崎.

44) 山谷和正, 西条寿夫, 中村清実, 福田正治, 西野仁雄, 小野武年: サル前頭前野電場電位および単一ニューロン応答と学習行動. 第32回生理学中部談話会, 1985, 10, 名古屋.

45) Ono T., Fukuda M., Muramoto K., Nishino H., Nishijo H. and Yamatani K.: Neuronal responses in monkey lateral hypothalamus during initiation of operant feeding behavior, and procurement and ingestion. 15th Neurosci. Symp.: Mechanisms of Appetite & Obesity, 1985, 10, San Antonio.

46) Ono T., Nishijo H., Nishino H., Fukuda M., Yamatani K. and Nakamura K.: Monkey dorsal amygdala neuron activity in positive and negative affective situations. 15th Neurosci. Symp.: Mechanisms of Appetite & Obesity, 1985, 10, San Antonio.

47) 園部 真, 甲州啓二, 藤本俊一, 広田 茂, 高橋慎一郎: 多発性神経膠腫の1例. 第14回東北脳腫瘍懇話会, 1985, 11, 仙台.

48) 堀江幸男: 脳腫瘍細胞の防御機構. 第2回生体防御講演会, 1985, 11, 富山.

49) 栗本昌紀, 小原 進, 中垣滋央, 青木重憲: 我々が経験した椎骨動脈 fenestration 7 例の検討. 第10回日本脳神経外科学会近畿地方会, 1985, 11, 大阪.

50) 栗本昌紀, 小原 進, 中垣滋央, 青木重憲, 森 睦子: 松果体位傍に脳腫瘍を合併した結節性硬化症の1例. 第10回日本脳神経外科学会近畿地方会, 1985, 11, 大阪.

51) 広田 茂, 藤本俊一, 甲州啓二, 園部 真, 高橋慎一郎: 第4回茨城県脳神経外科集談会, 1985, 11, 水戸.

52) 園部 真, 高橋慎一郎, 甲州啓二, 須賀俊博, 広田 茂: 破裂脳動脈瘤によるクモ膜下出血後の shunt 術について. 第40回国立病院療養所総合医学会, 1985, 11, 広島.

53) 藤本俊一, 広田 茂, 園部 真, 甲州啓二, 高橋慎一郎: CT 上初期診断が困難であった脳腫瘍の2例. 第20回日本脳神経外科学会関東地方会, 1985, 12, 東京.

54) 武田茂憲, 堀江幸男, 岩井良成, 岡 伸夫, 高久 晃: 大後頭孔髄膜腫術後に発生した syringomyelia の1例. 第16回日本脳神経外科学会中部地方会, 1985, 12, 浜松.

● その他

1) 高久 晃: 脳のできもの. 国立水戸病院10周年記念, 県民のための医学講演会, 脳の話, 1985, 11, 水戸.